令和７年 第４回 原村議会定例会　一般質問通告一覧表

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
1	芳澤　清人	1　村フォレストパーク構想について	1　「原村フォレストパーク」構想は、村有林を活用したアクティビティ施設で、民間に村有林を貸し出して整備するものと聞いている。村長は当該構想をどのように推進し、整備していく予定か。健康増進、憩いの場の提供、ペンションビレッジの集客への寄与、森林空間の有効活用など、当該構想に対する村長の思いや狙いを伺いたい。また、現在の進捗状況はどうか。	村長
			2　県との事前協議及び現地確認を踏まえ、林地開発についてどのような判断が示されたのか。43ha の村有林を整備するフォレストパーク計画と理解してよいか。	村長
			3　民間事業者「株式会社 A&F」は、マウンテンバイクトレイルコースのほか、レストランや多目的イベント広場等の整備を計画していると聞くが、具体的にどのような施設を想定しているか。また、現在どのような協議を行っているか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
1	芳澤　清人		4　今後の計画及びマウンテンバイクコースや各施設の図面等について、株式会社 A&F からの提示はいつ頃行われるのか。契約手続を含め、今後どのように進めていく予定か。	村長
			5　村有林は水源涵養林であり、用水の水源となっている。さらに、下流域の農地の用水ともなっているが、問題はないか。改正予定の村環境保全条例および導入予定の環境影響評価制度との整合性は確保されるという理解でよいか	村長
			6　自転車文化が根付いているアーカンソー州ベントビル市との関係、交流等は考えているか。	村長
			7　原村観光局はサイクルツーリズムを重点的に推進し、名古屋方面及び東京方面からの誘客を図る企画を 2 回実施したと聞いているが、具体的な内容はどうであったか。特に流入人口（来訪者数等）の実績について、どのように把握しているか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
1	芳澤　清人		8　近年、夏季の高温が続く他地域の自転車ツーリズムに対し、本村は冷涼でサイクルツーリズムに適した環境と評価されている。将来的に「自転車ツーリズムの観光村」として発信を強化する好機と考えるが、見解はどうか。あわせて、本村ならではのアドベンチャーサイクルツーリズム等の計画を「原村フォレストパーク」構想と並行して推進することについて、村長の考えはどうか。	村長
		2　アメリカシロヒトリ対策について	1　本年、村内でアメリカシロヒトリが異常発生した。来年度も同様の発生が見込まれるとの予測があるが、村はどのような対策を講ずるのか。また、柿やクルミ等の高木では薬剤が届きにくいが、高所まで散布可能なジェットノズル式散布機の貸出や散布業務の委託等の措置を講じる考えはないか。	村長
		3　村戦没者追悼式について	1　村戦没者追悼式は、戦没者遺族の高齢化により、参列者が年々減少傾向にある。この現状をどのように受け止め、今後どのように対応していくのか。平和教育の観点から、戦争のない平和の実現及び戦争を起こしてはならないという理念を次世代に伝えるため、小学生及び中学生の参列を得る形での村戦没者追悼式の実施はできないか。	村長 教育長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
1	芳澤　清人	4　中央道原バス駐車場について	1　中央道原バス駐車場の法面の雑草が繁茂し、景観を損ねている。定期的な刈り取りを実施すべきではないか。また、雨天時には水たまりが生じ、歩行が困難な状況となっている。砕石の敷設等による路面整備を行うべきではないか。	村長
2	森山　岩光	1　村政の現状について	1　２年前の新聞記事「原村長選 候補者に聞く」において、「現村政の採点を。」との問いに対し、85 点と評価していた。その理由は、「老人医療費特別給付金の継続、財政調整基金の維持、村債借入の削減など、財政の健全化の面で次世代に向けて持続可能な村のための整理を行っていただいた。近隣の自治体が財政面で厳しくなる中、人口 8,000 人の小さな財政規模ではあるが、選択のできる状態で引き継いでいただいたことに敬意を表したい」というものであった。 村長就任から２年が経過した。この間、公約を中心に積極的な村政運営に尽力いただいてきたと認識する。改めて、これまでを振り返り、現村政の評価をどの程度と捉えているか。その理由は何か、伺いたい。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
2	森山　岩光		2　「村が抱える最重要課題とその解決に向けた政策は」との問いに対し､｢農業の持続性確保と経済循環率の向上を基本とした地域経済の活性化が課題。①農業を基幹産業として、生産力を維持、向上させるだけでなく、高付加価値化や観光との組み合わせでその価値を最大限に引き出す。②村内の経済循環を高めるべく原村に必要な事業者の育成や誘致を行い、地域社会の持続的な発展と豊かな生活を実現する」であった。これらの取組の進捗状況と、見えてきた課題、その解決に向けた具体的施策について伺いたい。	村長
			3　「村政への住民参加や協働をどう進めるか」との質問に対し､「住民と対話する機会を必ず作る。①小学校や中学校から村政を学び、参加する機会を作り、子どもだけでなく、その保護者に参加してもらえる仕組みを作りたい。②各地区との対話は定期的に行い、地区ごとの課題に共に取り組みたい。行政だけでなく、地域団体とも連携し、住民と協力一致で力強く村づくりを推進する」であった。これらの取組の進捗状況と、見えてきた課題、その解決に向けた施策について伺いたい。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
2	森山　岩光		4　残り任期が 2 年程となった。改めて公約実現に向けての決意について、伺いたい。	村長
		2　村営住宅の維持管理状況は	1　村営住宅戸数は、分杭４戸、分杭西 8 戸、中学校北 1 戸、久保地尾根 6 戸の計 19 戸での運営と認識している。改めて、住宅の直近５年間の入居・稼働状況について伺う	村長
			2　築後 25 年程度の住宅が多い状況にあるが、中学校北の 1 戸は昭和 61 年に建築され、築後約 40 年が経過しており、老朽化が進んでいると推察する。これまでどのような維持管理を行ってきたか。また、入居者からの不満の声や修繕等の要望は把握しているか、伺う。	村長
			3　令和３年度から、「村営住宅管理基金」を設置し村営住宅の大規模改修等に備えたいとしている。中学校北１戸も大改修し使用して行くのか、今後の取り組みについて伺う	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
2	森山　岩光	3　アメリカシロヒトリ駆除・防除対策について	1　今年は、アメリカシロヒトリが大量発生した。住民から苦情や駆除・防除方法、要望などの問い合わせの声はあったか	村長
			2　アメリカシロヒトリは繁殖力が非常に強く、食欲も旺盛で、拡散すると手に負えなくなる。例年６月頃と８月頃の年２回発生し、その後分散・拡散して庭木、花木、果樹等、各種樹木の葉を食い荒らす。発生時期には庭木の剪定も盛んに行われるが、木材破砕処理場に持ち込まれる剪定枝等について、現場での駆除・防除対策は実施しているのか。持込者への指導・周知は徹底されているのか、伺う。	村長
			3　他者への迷惑防止の観点からも、駆除・防除は期間を定め、住民に周知のうえ一斉に実施してこそ効果が発揮されると考える。来年の発生時期に向けた取組及び具体的な対策について、考えはあるか、伺う。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平	1　下水道受益者負担金の未請求問題	1　本件について、令和7年7月15日、議会に対して中間報告があり、これを受けて新聞報道では「過去5年間、総額で666万円もの徴収漏れがあった」と報じられた。このような状況に至った背景は。	村長
			2　報告書において事務が滞った理由は、「当時担当していた職員がすでに退職しており不明。」と記載があったが、その後に関係者からの聞き取り調査を実施したか。また仕事は組織で行うものなのに、この職員のみに責任を転嫁しようとしていないか。普段から上司が請求状況をチェックしていれば、容易に分かることであるが。	村長
			3　牛山村長が就任してからも上下水道係長を置いていない時期があった。その期間（日付）と置かなかった理由は。	村長
			4　本件につき、村長と当時の建設水道課長の責任をどう考えているか。誰一人責任をとっていないが。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平		5　公表した受益者負担金の収納状況は。	村長
			6　過去は納付済みの下水道受益地を、公図に一筆一筆色塗りをして管理していたと聞いている。現在はどのような方法で管理がなされているか。地図データ（GIS 等）を利用して、瞬時にその判別ができるようになっているか。	村長
			7　下水道受益者負担金はとても高額である。村の下水道を使用していながら、受益者負担金を支払っている人と、支払っていない人がいる。このような事は絶対にあってはならないが、担当職員の注意力に頼らない抜本的な対策は出来ているか。	村長
			8　以前から水道料金と下水道使用料の未請求が頻発している。私は再三に渡って指摘しているが、現場部門の職員数が足りていないからこのような不祥事が起きるのではないか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平	2　村でスピードスケート靴を購入し、原小の体育授業で低学年児童のみに貸し出す。違和感が強すぎる。	1　企業版ふるさと納税を受けてのスピードスケート靴の購入。学校側からの予算要求でないことを確認しているが、一体誰の発案か。	教育長
			2　寄付者からは、スポーツ振興に使ってもらいたい意向があったと聞いている。であれば広く住民皆のために使うべきではないか。なぜ低学年児童の体育授業で貸し出す靴（予算の細節は印刷消耗品費）の購入となってしまったのか。	教育長
			3　例えば、原中のプールは壊れたまま放置し、校庭も荒れて酷い状況である。優先順位が明らかにおかしいが。	教育長
			4　スピードスケート靴の管理はとても大変である。現場となる学校とその職員への負担が危惧されるが。	教育長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平		5　本件は教育費で予算計上された。予算要求するに当たり、教育委員会内で十分な議論が行われたか。牛山村長の個人的な思いが反映されたものではないか。	村長 教育長
			6　本予算は具体的には学校管理費であり、かつ消耗品の購入費なのに、先の臨時議会では牛山村長から異常に細かい部分までの説明があった。通常自治体においては予算案が議会で議決された後に、各執行機関にて購入品の細かい仕様や業者選定方法などが決まるものである。すでに納入業者が決まっていて、その業者と話が出来ていたのではないか。	村長 教育長
			7　原小にて、長年に渡ってスケート靴を低価格でレンタルしてくれた業者（靴店）は、今回の村によるスケート靴の購入並びにその貸し出しによって、レンタル業を廃業することに至った。この件に対する教育委員会の考えは。	教育長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平		8　他のレンタル業者からは、原の子供達に貸し出す靴の内、約2割はフィギュアスケート靴であると聞いている。スピードスケート靴に限っては学校側で貸し出し、それ以外の靴は児童自身で用意するのでは、行政の公平性を欠くがよいのか。そもそも原小のスケート授業においては、スピードスケート学習と限定しているのか。	教育長
			9　今回のスピードスケート靴は、何年間使う見込みか。	教育長
			10　この学校がレンタルするスピードスケート靴は、授業以外のプライベートでも使えるか。紛失や汚損した場合の処置はどうなっているか。あわせて貸出規定等は作成するのか。	教育長
			11　物を買い与えても貸しても、教える人が居なければ意味がない。昨今ではスピードスケートを教えられる教員は居ないと聞いている。どのように考えているか。また、温暖化で滑走が出来るのは年9日程度とも聞いている。靴を公費で買ってまでして、それでいて体験程度の学習で良いのか。	教育長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平		12　以前の私の一般質問で、「冬も校庭を通常通りに使いたい。」という原小児童の声を届けた。一旦、校庭に水を入れてしまえば、他の運動には使えず、春先まで湿気て使えない。その後、教育委員会でこの問題の検討がなされたのか。	教育長
			13　定住自立圏を組んでいる北杜市から、小淵沢にある北杜市八ヶ岳スケートセンター（旧山梨県立八ヶ岳スケートセンター）の本村での利用を要望されているが、原小での利用は考えられているか。	教育長
			14　本来、本件はスケート靴を児童及びその保護者が用意するか、学校側が用意するかの話である。ところが先の臨時会では牛山村長はじめ議員達が、文化・文化と言って、体育の授業でスケート（スピードスケート）を強要するがごとく感じた。この事を教育委員会としてどう捉えているか。	教育長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平		15　学校教育においては、大人達の古い価値観や経験を、文化だから、伝統だからと言って強要することがないよう特に配慮する必要があると感じている。また多数意見に従属するのではなく、たとえ少数意見であっても、自分が正しいと信ずることを主張できる人材への育成も大切と感じる。文化や伝統は時代と共に常に変化していくものではないか。教育委員会における今後の学校教育の方向性は。	教育長
4	村田　俊広	1　補聴器購入補助の拡充を	1　対象人数と利用された人数は。	村長
			2　補聴器の使用人数、補聴器を使用すべき人数の推計は。	村長
			3　制度の改正は考えているか。	村長
		2　指定管理に関連して	1　鉢巻き道路沿いの四季の森入り口に建つ、自然文化園への案内看板の設置者及び管理者は誰か。また修繕すべき者は誰か。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
4	村田　俊広		2　まるやち湖脇のトイレの設置者及び管理者は誰か。	村長
			3　樅の木荘向いのトイレの設置者及び管理者は誰か。	村長
			4　以前、両トイレを冬季も使用できるよう要望したところ、構造上の都合があるということだった。冬期も使えるようなトイレの設置を検討したか。	村長
			5　冬季、自然文化園館内、樅の木荘館内のトイレは住民が利用可能か。	村長
		3　住民間の交流に役立つ村ホームページの在り方など	1　トップページの「暮らし・行政」をクリックして一番下まで行くと「区・自治会」の項目がある。区、自治会の役割がコンパクトに記されている。加入を勧めてはいるが、一般的で是非加入したいというインセンティブが働かない。区の役員から行事等の掲載希望があるが、どのような手順が必要か。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
4	村田　俊広		2　東南アジアの方が多く外国人登録されているが、タイ語、ベトナム語等へホームページを翻訳する方法は。	村長
			3　ホームページの多言語化含め、多文化共生のための取り組み、たとえば日本語教室や交流会など検討しているか。	村長
		4　小水力発電について	1　原村地球温暖化対策実行計画で、小水力発電に全くふれられていない。茅野市、富士見町でも取り組まれている。本村における小水力発電に関わる検討状況を聞く。	村長
			2　上水道施設における発電は検討されているか。	村長
		5　保健休養地における定住者の増加に伴う課題について	1　保健休養地における定住者の増加に伴う課題と考えられることは何か。	村長
			2　総合計画の土地利用構想における「エリア」と「地域」の違いは何か。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
4	村田　俊広		3　令和７年第２回定例会の一般質問において、小松議員の環境保全条例に関する質問に対し、「宅地等開発地、保健休養地の線引きの見直し」との答弁があった。具体的にどのように見直すのか。ゾーニングの変更も想定しているのか。	村長
			4　総合計画の土地利用構想において「別荘エリアに可能な限りの行政サービスの提供」とあるが、具体的にどの範囲・水準の提供を想定しているのか。	村長
5	佐宗　利江	1　庁舎入口へ総合案内の設置について	1　来庁者に対するより丁寧な対応として総合案内を設けてはどうか。	村長
			2　各課を回る「たらい回し」を防ぐ対応として適当だと考える。	村長
		2　もみの木荘より上に植栽されているモミジの伐採について	1　住民からはとても綺麗だという声を多く聞く。伐採する理由について、幅広く住民意見を聞いた結果か。	村長
			2　伐採に反対する声があるが村としてどう考えるか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
5	佐宗　利江	3　ふるさと納税への取り組みについて	1　税収増加のため取り組みの重要性が問われるが村の考えは。	村長
			2　人員の増加をする考えは。	村長
			3　新たな業者が選定されたがどの程度のことが期待できるか。	村長
		4　花卉栽培への生産振興について	1　野菜に比べて振興策が少ないがその理由。	村長
			2　JA 信州諏訪管内では、近年、病害虫などの増加や就農者の減少により想定した生産量が確保できていない。村としてどう考えるか。	村長
			3　既存の支援策の増強及び、新たな対応策が求められるが。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
6	小松　志穂	1　DX 推進に伴う窓口業務の最適化を	1　役場開庁時間帯別の来庁者数や電話対応数の動向を把握しているか。	村長
			2　オンライン申請やコンビニ交付の普及状況は。利用率の推移はどうか。	村長
			3　窓口業務と職員の勤務時間との関係について、現状どのような課題があると認識しているか。	村長
			4　窓口時間の見直し（短縮）を進める自治体も増えている。当村でも検討しているか。また、今後検討する考えはあるか。	村長
			5　窓口時間を見直した場合、住民への影響をどのように考えるか。住民利便性や住民サービスはどう向上するか。 また、窓口時間の見直しが職員の働き方改革にどのような効果をもたらすと考えるか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
6	小松　志穂		6　今後、窓口業務最適化のために具体的にどのような取り組みを進めていくか。	村長
		2　職員が中長期的なキャリアプランを描ける人材マネジメント制度を	1　若手・中堅職員の離職が課題となっている。全国的な調査でも「異動先が不透明でキャリアパスの見通しが立たない」が退職理由の上位にある。 当村において職員の人事異動に関する透明性の確保はどのように取り組んでいるか。	村長
			2　現在の人材育成基本方針において、職員研修以外に職員のキャリア形成を支援する仕組み（キャリアパスの例示・キャリア面談・自己申告制度等）はあるか。	村長
			3　人材育成の仕組みとして、計画的なジョブローテーションや複線型人事制度を導入する自治体も増えている。これらの導入についてどう考えるか。	村長
			4　離職を防ぐ人材マネジメントとして、キャリア形成支援の観点も踏まえ、今後どのような取組みを進めていくか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
6	小松　志穂	3　公共施設等総合管理計画の見直しをどのように進めるか	1　令和８年度に公共施設等総合管理計画の見直しを行うとしている。現時点でどのような準備や検討が進んでいるか。	村長
			2　計画見直しに向けて、住民への情報提供や意見聴取はどのように行う予定か。これまでに実施した取り組みはあるか。	村長
			3　今回の見直しでは、施設の集約・複合化についてどの程度具体的な方向性を示す想定か。	村長
			4　計画見直しの実施体制はどのように考えているか。庁内プロジェクトチームの設置や外部委託など、具体的な想定はあるか。	村長
			5　過去の同計画策定において、外部コンサルタントへの委託費用はどの程度だったか。また、その成果をどう評価しているか。	村長
			6　他自治体では、地域活性化企業人制度を活用して公共施設再編に取り組む事例もある。地域活性化企業人制度を活用すれば、一般財源の負担を抑えて民間人材を確保でき、実務を通して職員の計画策定力も育成・向上できる。こうした手法を検討する考えは。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
6	小松　志穂	4　フリースクール利用児童生徒世帯への支援を	1　フリースクール利用児童生徒がいる世帯への支援の必要性はこれまでも提言している（令和６年第３回定例会一般質問）。 　義務教育課程にある子どもたちの学びや成長の機会が損なわれることがないよう、本村でも何らかの支援を早急に導入すべきと考えるが、これまでの検討の結果や支援開始の見込みは。	教育長
7	半田　裕	1　国や他自治体との連携と職員育成による事業力強化を	1　補助金・交付金の情報収集体制について 　本村における補助金等の情報収集の方法および共有体制はどのようになっているか。	村長
			2　企画書等の質向上に向けた組織体制について 　補助金申請や新規事業の企画書について、複数部署によるレビュー体制や外部専門家活用の体制がつくられているか。	村長
			3　企画・補助金対応を専門的に行う部署の充実について 　上記２点を各部署で行うには限界があると考える。新規事業や予算確保に対応する専門部署の拡充についてどう考えているか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
7	半田　裕		4　他自治体への視察研修の実施状況について 　職員の他自治体への視察や研修の実施状況は。また成果を組織として共有する仕組みはどのようになっているか。	村長
			5　職員の出張における公共交通機関の利用状況について 　出張時の公共交通機関の利用状況は。職員の負担軽減と効率化のために 100km 以上の移動時には積極的に公共交通機関を使用すべきと考えるがどうか。	村長
			6　国の職員との人事交流（職員派遣・受入）について 　事業力強化のためには国とのパイプは必須と考える。職員交流制度の導入可能性および検討状況は。	村長
		2　新規事業を行うための財源・人材確保のための事業精査を	1　予算要求の必要性を判断する基準について 　本村が予算化の可否を判断する際の基準・指標をどのように設定しているか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
7	半田　裕		2　事業評価の方法および成果説明書の改善について 　現行の成果説明書では事業評価が見えにくい。村はどのように事業を評価しているか。特に各事業の人的・財政的な負担をどう把握し費用対効果を評価しているか。	村長
			3　新規事業実施のための既存事業の見直しについて 　財源・人材が限られる中、新事業のために不要・非効率事業の廃止が必要と考えるが、今後の見直しの予定はあるか。	村長
			4　ゼロシーリングの予算編成と前年踏襲の課題について 　ゼロシーリング方式が結果として前年踏襲になってしまう点が事業を廃止できない理由の一つと考える。村の事業棚卸しを３年に１度は必ず実施する等、定期的なゼロベース予算編成の仕組みを検討できないか。	村長
			5　事業の入れ替え（例：５％廃止・５％創出）の考え方について 　新規事業の導入を可能とするため、毎年度、一定割合の事業廃止と新規事業創出を制度的に行う考えは。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
7	半田　裕	3　関係人口を増やし、地域の課題解決へつなげるための取り組みを	1　関係人口の定義および現状把握について 本村における関係人口はどのように定義され、人数、属性をどのように把握しているか。また、関係人口が村にもたらしている効果や、課題解決への貢献度について、評価や分析を行っているか。	村長
			2　特色あるむらづくりに向けた明確な方針設定について 村民としての誇りの醸成や関係人口を増やすためにも本村として「〇〇日本一の村」等、将来像や村の特徴を明確に打ち出す方針を策定する必要があると考えるがどうか。	村長
			3　企業連携によるむらづくりについて 企業版ふるさと納税等、連携企業を増やし村の課題にもう一歩踏み込んで共に考えてもらえる仕組みを導入しては。	村長
			4　地域の困りごとの可視化と協力隊インターン制度導入について 住民や集落が抱える「困りごと」を収集・整理する仕組みがあるか。その上で、地域おこし協力隊インターン制度を活用した課題解決の仕組みの導入を検討しては。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
8	松下　浩史	1　原村観光局に求める役割は	1　本年３月に原村観光局が設立された。村も設立に関与したが、設立の目的は何だったか。簡潔に。 （どのような目標を達成するために必要と考えたか）	村長
			2　設立から半年余りが経つが、村の観光振興の進め方に何か変化があったか。	村長
			3　今後、観光振興を進めていく中で、村、観光局、事業者など、関係する者の役割は明確化されているか。 村はどういった立ち位置で今後かかわっていくのか。	村長
			4　公益的な事業を担ってもらうことを前提に村から職員を派遣しているが、どのような事業が公益的なものか整理できているか。	村長
			5　今後、観光局を評価するにあたってのポイントはどのような所か。 どのような目標が達成されれば良いかは明確になっているか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
8	松下　浩史	2　県宿泊税導入に向けた準備は	1　県宿泊税が令和８年６月より導入される。市町村交付金の一般交付金額の試算、基金設置の検討や重点交付金の対象となり得る本村の事業の洗い出し、また使途に関して決定するプロセスなど、制度開始に向けた準備はされているか。	村長
		3　部活動地域移行をどう考える	1　地域移行に向けたスケジュールはどうなっているか。	教育長
			2　様々な検討を重ねる上で、「学校教育の一環としての部活動」は将来的に維持できる、または維持すべきと考えているか。	教育長
			3　学校が部活動を行っている目的・意義は。	教育長
			4　学校でなければ、若しくは学校が関わらなければ、その目的は達成できないのか。	教育長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
8	松下　浩史		5　私は「学校教育の一環としての部活動」から脱却し、新たな体制の構築をいち早く進めることが子どもにとって良いと思っている。 　どのような形が子どもにとって理想的か。村が思い描く将来像は。	教育長
9	宮坂　早苗	1　新規作物に取り組む農業者への支援体制の確保を	1　農業生産の現場は、温暖化による気候変動、テンサイシストセンチュウ、セロリ疫病などの発生で多くの苦労を抱え、対応している。また、夏場の高原野菜の責任産地としての役割、発色の良い花卉、鉢物生産など、生産者の努力によって維持されている。生産者の中には、ブランドを維持しながらも新しい作物を取り入れようと模索している経営体もある。ブランド産地である農業生産の現場であるが、村として、新しい作物の研究、ＪＡとの課題共有などは行っているか。	村長
			2　現在の物価高騰、種苗費、資材等の経費高騰、加えて運搬に係る経費高騰など、費用面での経費負担増が新規作物にチャレンジすることをためらう要因ともなっている。新しい作物にチャレンジする生産者への支援体制（種苗費、資材費、諸材料費、機械購入費など）を整えるべきでは。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
9	宮坂　早苗	2　八ヶ岳観光圏の活用は出来ているか	1　観光圏「滞在促進地区」には、特例として旅行業代理業を営むことが認められている。ペンション区が指定されているが、北杜市が滞在プログラムや人材育成などを企画、調整するとなっている。行われている内容と活用した評価、今後の課題は。	村長
		3　地域運営組織「まちづくり協議会」の設立を考えては	1　人口減少・高齢化、空き家の増加、地域交通・買物支援、見守り・防災体制の強化、保健休養地での定住増に伴う環境保全と生活ルールの調整、里山管理や獣害対策、担い手不足やデジタルデバイドなど、地域の多様で複合的な課題が顕在化している。これらの解決に向けた協議体として、区・自治会、関係団体、事業者、NPO、子育て世代等が参画する地域運営組織「まちづくり協議会」の設立を考えてはどうか。	村長